

# 教育のページ



新潟県で展示する「アイアンマン」のモニュメントと高井正人教諭（田辺市あけぼの）

## 全国産業教育フェアで展示

### 田辺工業高 卒業生の作品2体

田辺市あけぼのの田辺工業 示す。  
 高校は県代表として、機械科 全国産業教育フェア（実行  
 の卒業生が在学中に制作した 委員会・文部科学省など主催）  
 モニュメント2体を26、27日 では、全国の専門高校などが  
 に新潟県で開かれる「全国産 実習・課題研究で制作した作  
 業教育フェア新潟大会」で展 品を展示、実演、研究成果の  
 発表などをする。

田辺工業から出展する2体  
 のうち、鉄板でできた像「ア  
 イアンマン」は、昨年度の3  
 年生が文化祭に展示するため  
 に約3カ月かけて制作した。

題材はアメリカのヒーロー映  
 画「アイアンマン」の主人公  
 で実寸大（高さ1・9メートル）  
 元から目と胸元、右手が光  
 る仕掛けになっていたが、指  
 導した機械科科長の高井正人  
 教諭（50）が今回の出展のた  
 めにスイッチを付けて容易に  
 点灯できるように改造した。

もう1体は田辺市のキャラ  
 クター「たなべ」のからく  
 り人形。2015年度の3年  
 生が作り始め、16年度の3年  
 生が引き継いで完成させた。  
 アルミ製でハンドルを回す  
 と、眉毛と腕、首がそれぞれ  
 異なる周期で動く仕組みにな  
 っている。制作段階では、ア  
 ルミ板を道具でたたき、丸く  
 成形するのが大変だったとい  
 う。

2体とも地域の催しなどに  
 出展して喜ばれているとい  
 う。作品の他にも制作の意図  
 や過程を示したパネルを展示  
 する。

高井教諭は「作品づくりは  
 ものづくりが好きな生徒がそ  
 れぞれの得意分野を生かし、  
 評価される機会。作る楽しさ  
 や、田辺工業では「たなべ」こ  
 ができるといって、工業高  
 校ならではの地域貢献の取り  
 組みが発信できれば」と話し  
 ている。